



「地域学校協働活動推進員」って知っていますか？

学校と地域の橋渡しをする「地域学校協働活動推進員」(以下、「推進員」)さん。現在、市内各小中学校に1〜3人が配置されています。その推進員さんに聞きました。



高田 秀郎さん

1. 配置校はどこですか？

天拝小学校です。

2. 推進員になったきっかけは？

約20年前「子ども会育成会」の仕事に携わり、その後は「八者懇談会」のお世話役として、地域と学校をつなぐ橋渡しをしてきました。こうした活動を継続し、地域と学校の連携に少しでも役立てればと思い、推進員をお受けしました。

3. 主にどんな活動(具体的に)をしていますか？

地域と各学校(天拝小学校、二日市中学校、武蔵台高校、福岡農業高校、太宰府特別支援学校、はなぞの保育園、日本経済大学)の要望をくみ取って「連携・協力シート」を作成するなどを通して、地域学校協働活動の充実に貢献したいです。

4. 活動してみてもうれしかったことは？

作成した「連携・協力シート」をきっかけに、さまざまな団体や組織

が垣根を越えて活発に交流している様子を見ることができうれしく思っています。

5. 活動してみてもよかったことは？

地域学校協働活動をさらに充実させるためには、より多くの地域住民に関わっていただくことがこれからの課題だと感じています。

6. 将来、やってみたい活動は？

公民館での学習会など、子どもたちが安心して過ごせる「地域の居場所づくり」をしたいです。



▲小学校での環境学習
ホタルの幼虫を観察している様子